特殊詐欺対策ニュース

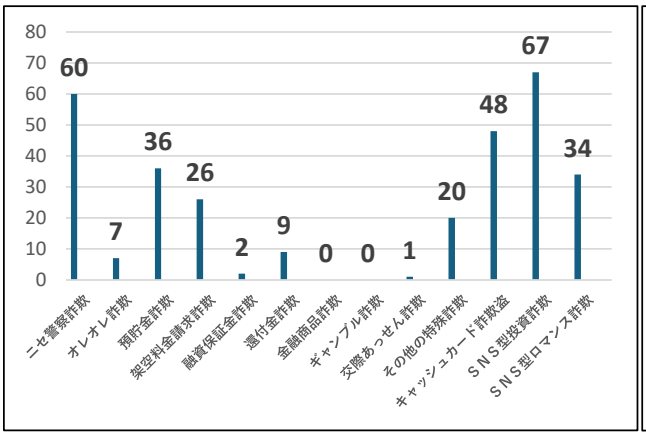
令　和　8　年　6　月
警察本部生活安全企画課

特殊詐欺認知状況（令和8年5月末）

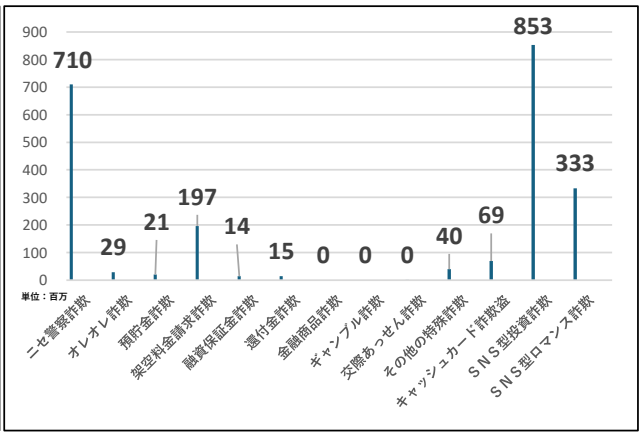
1　特殊詐欺の認知件数・被害額の状況

		認知件数	被害額
特殊詐欺合計	R8	310	2,279,793,276
	R7	251	1,292,168,264
	増減数	59	987,625,012
ニセ警察詐欺	R8	60	710,132,710
	R7	38	256,544,262
	増減数	22	453,588,448
オレオレ詐欺	R8	7	28,520,000
	R7	14	80,650,000
	増減数	-7	-52,130,000
預貯金詐欺	R8	36	20,518,000
	R7	60	80,186,000
	増減数	-24	-59,668,000
架空料金請求詐欺	R8	26	196,501,729
	R7	52	84,626,226
	増減数	-26	111,875,503
融資保証金詐欺	R8	2	14,220,953
	R7	7	2,029,026
	増減数	-5	12,191,927
還付金詐欺	R8	9	14,686,691
	R7	12	20,343,525
	増減数	-3	-5,656,834
金融商品詐欺	R8	0	0
	R7	0	0
	増減数	0	0
ギャンブル詐欺	R8	0	0
	R7	0	0
	増減数	0	0
交際あっせん詐欺	R8	1	92,000
	R7	0	0
	増減数	1	92,000
その他の特殊詐欺	R8	20	39,840,526
	R7	7	14,243,827
	増減数	13	25,596,699
キャッシュカード詐欺盗	R8	48	69,209,000
	R7	4	8,399,000
	増減数	44	60,810,000
ＳＮＳ型投資詐欺	R8	67	853,458,755
	R7	20	240,337,854
	増減数	47	613,120,901
ＳＮＳ型ロマンス詐欺	R8	34	332,612,912
	R7	37	504,808,544
	増減数	-3	-172,195,632

認知件数（R8）



被害額（R8）



○　令和8年5月末現在の認知件数は310件（R7年5月末：251件）で前年に比べ59件増加し、被害者の年齢層は、高齢者(65歳以上）の割合が約48.1％(令和７年：約64.4％)となっており、約半数が高齢者の方となりました。

○　令和8年5月末現在の被害額は約22億8,000万円（R7年5月末：約12億9,200万円）で前年に比べ約9億8,800万円増加し、SNS型投資詐欺及びニセ警察詐欺の被害額が全体の約7割を占めました。

2　令和８年５月中に認知した主な事件

⑴　ニセ警察詐欺

令和８年４月下旬、被害者方に厚生労働省職員を名のる者から電話があり、「あなたのマイナンバーカードが不正利用されています。」などと言われ、その後、警察官や検察官を名のる者に電話がつながれ、「あなたは逮捕した被疑者の共犯者の１人であることがわかった。」、「あなたの資産を調査する。」などと言われ、５月11日から同月16日までの間に、複数回にわたり、指定された口座に現金合計約3,000万円を送金し、だまし取られた。

⑵　SNS型ロマンス詐欺

令和８年３月頃、被害者のSNSアカウントに「台湾人と日本人のハーフ」を名のる者からダイレクトメッセージが届き、別のSNSに誘導されてやり取りを続ける中で「暗号資産で投資をしたら儲かる。」などと暗号資産の購入を持ちかけられた。

その後、４月８日から５月19日までの間に複数回にわたり、合計約１億1,000万円相当の暗号資産を購入して犯人から指定されたアドレスに送付し、だまし取られた。

3　被害防止ポイント

○　SNS上には、投資に関する詐欺動画や詐欺広告が多数存在します。SNSやインターネットで知り合った者から、**LINEなどのSNSグループに招待されて投資を勧められる**ケースが多いです。見知らぬ者から投資を勧められた場合は詐欺を疑ってください。

○　**絶対に儲かる投資はありません。**「必ず儲かる」「確実に利益が出る」などの甘い投資話には乗らないでください。

○　犯人は**毎回違う口座（個人名義や法人名義）**を振込先として指定するケースが多いです。

○　区役所職員や銀行員等を名のる者から電話で**「還付金がある」**と言われた場合は詐欺です。

○　特殊詐欺の約８割は犯人からの電話がきっかけで被害に遭っており、そのうち約７割は国際電話番号が利用されています。**下記アプリ（警察庁が推奨する詐欺対策アプリ）をスマートフォンにインストールすることで国際電話番号からの着信をブロックできる**ため、多くの方にインストールを推奨します。